

らよいか。

○中間発表 11月12日

(2) 安達郡大玉村立玉井小学校

○発達段階に応じた器械運動の指導

○中間発表 10月27日

(3) 石川郡石川町立野木沢小学校

○器械運動における段階的指導

○中間発表 11月10日

(4) 双葉郡浪江町立大堀小学校

○保健体育におけるグループ活動をどのようにするか。
○狭い運動場をいかす体育施設・設備と指導をどうするか。

○中間発表 10月28日

(5) 須賀川市立西袋中学校

○徒手体操、器械運動、ダンスを主とした学習指導法の研究

○中間発表 11月25日

(6) 喜多方市立喜多方第一中学校

○系統的学習の効果的指導

○中間発表 11月 6日

(7) 河沼郡湯川村立笈川中学校

○徒手体操の効果的指導と生活化を図るにはどうすればよいか。

○中学校における巧技の指導をどのようにすればよいか

○中間発表 10月23日

(8) 南会津郡下郷町立旭田中学校

○中学校における陸上競技の指導法の研究

○中間発表 11月 2日

研究指定校全体についてみると、教育に対する情熱が学校の内外に溢れ、児童生徒は元氣潑刺として明朗積極的で、かつ自主的である。これは体育科教育を通じて学校教育全体に好影響を与えていることを物語っているものである。そこから指導法を生み出し、カリキュラムを編成し、指導の努力点を把握していることは実際に即したもので、能力のあるものは大いにのびし、遅れているものは個別に指導している点がよく現れていた。

運動技能は高く、当該学年以上のところも少くなかった。態度や人間関係においてもよく指導されていた。

施設・設備では非常な努力がなされたことはその学校のみならず地域にとっても大きな収益である。これを裏返せば、県内の各学校の施設・設備はまだまだ貧困であるのではないかと考えられる。

F スポーツ巡回指導

本県のスポーツを一段と強化させるため、県内四地域において巡回指導をなし、もって指導者の資質の向上と選手の技能強化をはかるのがねらいである。

a, 主催 県教委事務局、県体育協会、県高体連、県中体連

b, 実施種目 バレーボール、サッカー、ラグビー、ハンドボール、剣道

c, 会場 福島市、郡山市、若松市、平市

d, 内容

(1) 各競技のルールの解説、審判法

(2) 基本技能、応用技能、ゲーム

e, 日程 各 2日間

今年度は時期的に多少遅かったが、主として選手の強化練習には大いに効果があった。種目によっては、合宿訓練によって強化をはかりたいもの、普及の段階のもの等があるが、それぞれ種目に適応した方法で実施した。今後は年度始めに実施したい。

G 第二回福島県体育研究大会

体育を学理的、実践方法的に研究し、もって保健体育の向上をはかるため、県内体育関係者の参集のもとにこれが研究大会を開催した。

a, 期日 10月17日・18日

b, 会場 白河市立白河第一小学校

c, 特別講演 日本体育大学長 栗本義彦氏
演題「今後の体育指導のありかた」

d, 研究発表 第1日は白河一小的発表会

第2日一般発表者及び研究指定校の発表 11名

e, 参加者 350名

f, 研究集録 研究発表内容を要約し、特別講演の全内容を集録に編集した。

この大会は県内小学校から大学までの指導者の集会で、全体を一丸とした研究協議の機会であるので、極めて有意義に終了することができた。特に今年度は、会場を研究指定校にし、その学校の発表会と併せて大会としたため、参会者にとっても大へん有効なものであった。こん後も会場はこのようにしてゆきたい。

H 学校ダンス講習会

小学校および中学校の学習指導要領の改訂にともない、特にダンスの指導能力を高め、もって教職員の資質の向上をはかるのがそのねらいである。

a, 期日 昭和35年 1月16日・17日(棚倉)
昭和35年 2月13日・14日(喜多方)

b, 会場 棚倉町立棚倉小学校

喜多方市立喜多方第一小学校

c, 講師 福島大学学芸学部 西間木リツ氏

d, 内容

(1) 学習指導要領ダンスの取扱いかた。

(2) 実技

e, 参加者 各会場とも 120名

ダンスについては4月に指導者養成講座で一応指導者の養成をはかってきたが、特にこれを取りあげて普及向上に努めた。またダンスについては、福島県体育研究会等でも数ヶ所で実施し効果を収めた。

I 小学校・中学校教育課程研究協議会

小学校は移行の第1年目、中学校は移行の準備として